

健康・未病産業と最先端医療関連産業の創出による経済成長プラン(概要)

神奈川県
横浜市・川崎市

～ヘルスケア・ニューフロンティアの実現に向けて～

1 背景・課題・提案の目標

- 日本はこれまで経験したことがないような超高齢社会を迎え、従来のシステムでは通用しなくなる。
- 先進国も同様に超高齢社会に向かっていることから、日本は世界共通の課題にいち早く立ち向かうことになる。
- 神奈川県では、この課題への解答として、「ヘルスケア・ニューフロンティア」に取り組んでいる。
- 「最先端医療・技術の追求」と「未病を治す」という2つのアプローチを融合し、健康寿命日本一を目指す。
- 規制緩和等を通じて健康・医療市場のビジネス環境を整備し、革新的なビジネスモデルを確立することにより、健康で質の高い生活を提供する。
- 企業主導で健康・未病関連の新市場・新産業を創出し、国内需要の喚起、成功モデルの海外展開など、経済成長を牽引する好循環モデルを実現する。
- 研究開発拠点と近接した環境で、京浜工業地帯を中心に多数立地する製造業が最先端技術と融合し、高付加価値製品の実用化を進める。製造業の医療関連産業での活躍を起爆剤に、日本経済の再生を実現する。

2 重点施策の3つの方向

- I 健康・未病産業の創出**
 - 医療ニーズの高い高齢者のみならず、全世代で質の高い生活を担保する仕組みを構築。
 - がん、生活習慣病の新たな予防・診断に加え、疾患の発症につなげない未病産業を創出。
- II 最先端医療関連産業の創出**
 - ものづくり技術を核に、革新的な基盤技術の開発と合わせた最先端医療関連産業を創出。
 - これまでにない均質・高付加価値の医薬品、医療機器の実用化を図り、海外市場へ展開。
- III イノベーションを生み出す基盤構築**
 - 羽田空港との近接性を活かし、グローバルなオープンイノベーション研究開発拠点を形成。
 - ベンチャー企業への円滑な資金供給により、イノベーションを促進。
 - 国際MICE拠点の連携強化により、世界に開いたショールームを展開。

3 プロジェクトの基本方向

目標	重点項目	プロジェクトの基本方向と主な取組	主な規制・制度改革要望	KPI
健康・未病産業と最先端医療関連産業の創出	I 健康・未病産業の創出	<ol style="list-style-type: none"> 1 革新的な診断技術の開発促進 2 未病の「見える化」・改善プロジェクトの推進 3 ビッグデータと実証フィールド活用による新たな健康への取組 4 「健康コンシェルジュ」によるセルフケアの推進 5 漢方産業化の促進 6 CHO(最高健康管理責任者)構想の推進 7 「心のレントゲン」プロジェクトの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○健診情報等の収集・活用に対するインフォームド・コンセントの要件の緩和 ○薬事申請における英語申請が可能な対象書類の拡大 ○薬事関連法令の国際標準化の早期実現 ○個人の健康・医療情報活用のためのルールの早期整備 ○バイタルセンサ等の通信に用いられる周波数帯割り当ての特例 ○健診情報等を基にしたサプリメントの紹介に関する取扱いの明確化 ○機能性食品の機能性表示認証の緩和 ○機能性食品の第三者認証に基づく、独自認証基準策定と実践 ○生薬における規制の再構築 ○医療ソフトの認定プロセスの簡素化 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康関連産業の市場規模 ○医薬品・医療機器、再生医療の医療関連産業の市場規模
	II 最先端医療関連産業の創出	<ol style="list-style-type: none"> 1 iPS細胞を活用した再生医療の実現 2 再生・細胞医療の実用化・産業化に向けた基盤構築 3 ものづくりによるナノ医療イノベーションの実現 4 革新的ながん治療法・医薬品の実現 5 革新的な医療機器・ロボットの開発・実現 6 基礎研究の早期実用化に向けた基盤構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○第I相臨床試験に係る特定病床の許可に関する手続きの簡素化及び許可基準の緩和 ○第II相、III相臨床試験の専用病床制度の創設 ○第II相試験後の医薬品承認の範囲拡大 ○補助事業や委託事業での取得物品・機器について当初目的以外への転用の許可 ○臨床研究データを治験段階で活用することを認める制度の構築 ○再生・細胞医療の薬事承認制度の規制緩和 ○先進医療等の保険外併用療養の範囲拡大と評価体制の柔軟化 ○医療機器の承認審査の緩和 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の医療技術・サービスが獲得する海外市場規模 ○研究開発費の対GDP比率
	III イノベーションを生み出す基盤構築	<ol style="list-style-type: none"> 1 グローバル人材の育成・集積とオープンイノベーションの促進 2 ベンチャー企業等への資金供給の促進 3 世界に冠たるライフイノベーションの国際MICE拠点 4 国際的医療人材の養成 5 データマイニング技術によるメディカル・インフォマティクスの確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○優秀な外国人人材等の出入国管理上の優遇措置の拡大 ○グローバルMICE戦略都市の重点分野の明確化と特性に合わせた支援 ○ベンチャーファンドへの投資に対する課税の特例の創設 ○国際会議参加者の出入国手続きの迅速化 ○外国人医療人材の国内での医療従事緩和 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○国民の健康寿命の延伸 など

4 ポテンシャル

- 国内外の研究交流のハブである羽田空港と隣接したエリア
- 京浜工業地帯に立地する最先端技術の実用化に不可欠な製品開発力を有するものづくり企業の集積
- アジアヘッドクォーター特区の有するビジネス環境と近接した研究開発拠点
- 研究開発拠点と連携した国際MICE拠点の立地
- 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区と、さがみロボット産業特区の2つのエンジンを最大限活用する。
- 隣接するアジアヘッドクォーター特区のオフィス群と京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の最先端研究拠点の相乗効果を武器に、世界に開けたビジネス環境を整備する。